

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和5年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州国際交流協会
-----	------------------

所管課	政策局 国際政策課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>①外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。</p> <p>②行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。</p> <p>③世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う。国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>多文化共生施策の一翼を担う専門組織としての役割を果たしつつ、今後は、行政と市民団体などとの協働による多文化共生社会構築の取組みを拡充するため、NPOやボランティア団体などの担い手の育成におよ一層努める。</p> <p>また、より効果的・効率的な運営を図る観点から、他団体との統合について検討する。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	<p>(1)世界的な感染症拡大など新たな課題に対する相談対応や防災などの情報発信を行うとともに、自動翻訳技術などICTの発展、オンラインの普及などを踏まえて、行政・生活情報の多言語化や日本語学習支援の多様化を図る。</p> <p>(2)外国人としての視点や外国人がもたらす多様性を積極的に活用することによって、地域の魅力発信や活性化、まちづくりに繋げていく。特に、留学生等の地域における就職を促進する。</p> <p>(3)外国人市民が主体的に地域社会に参画し、自治会活動、防災活動、他の外国人支援等の担い手となる取り組みを促進する。</p>
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	R1	R2	R3	R4	R5		R6	R7
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
外国人市民の生活環境の向上※1 (生活の困難が軽減された状態)	85.0%	—	—	—	85.0%	72.4%	—	/
協働団体数	273団体	201団体	223団体	224団体	240団体	215団体	240団体	
市民の「多文化共生」という言葉の認知度	58.1%	60.6%	59.9%	60.6%	61.0%	59.5%	61.0%	
日本での就職活動に対する留学生の理解度※2	—	13.7%	—	—	14.0%	10.6%	—	

※1 多文化共生の現状調査：（概ね5年毎） ※2 留学生実態調査：（概ね3年毎）

ミッションの遂行状況の評価（令和5年度）

<p>団体における評価</p> <p>新型コロナウイルス感染症の「5類」以降後、研修やイベント等を増やしていった結果、協働件数については前年度をやや下回ったが、多文化啓発事業の参加者数は前年度の1.9倍となった。</p> <p>多文化共生ワンストップインフォメーションセンターに寄せられる外国人相談は、相談者数・相談件数とも前年度を下回る結果となったが、2024年1月からは、相談者数・相談件数も前年度を上回るペースで増加してきている。また、永住者・就労者・留学生の増加にともない、通訳や日本語教育に関する相談が増加し、生活に必要な場面での支援が求められている。</p> <p>さらに、地域日本語教室への支援をはじめ、講師派遣や協会が実施する日本語教室を通して人材育成に努め、外国人市民の自立を支えた。</p>	<p>市の評価</p> <p>新型コロナウイルス感染症の「5類」以降後、積極的に事業を展開したことや、丁寧な情報発信が寄与し、多文化啓発事業の参加者数が大幅に増加している。</p> <p>一元的相談窓口について、寄せられる外国人相談は前年度を下回る結果となったものの、外国人市民の増加により、相談内容は多様化・複雑化している中で、きめ細かく対応していることが伺える。</p> <p>さらに、地域日本語教室への支援をはじめ、講師派遣や当協会が実施する日本語教室を通して人材育成に努めた。</p> <p>また、外国人市民の社会参画に向けた研修を数多く開催するなど、多文化共生の推進に向け大きな成果を挙げている。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類 統合を検討する団体

現状の体制を維持しつつ、さらなる民間活力の活用など持続的な運営体制の構築に取り組む。

ミッションに基づく具体的取組み（令和5年度）

目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）				
<p>本市に在住する外国人市民が、言葉の壁や制度の壁に阻まれることなく、日本人市民と同じ様にさまざまな情報を入手し、安心・安全な生活を送ることができるようにする。</p>					<p>外国人市民が不安なく生活が送れるように生活情報や日本語教室の情報提供充実を図るとともに、相談体制の強化を図る。</p>				
成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
1 外国人市民の生活環境の向上 (外国人市民にとって情報不足等による生活の困難が軽減された状態)	—	—	85.0%	72.4%	外国人向け無料一般相談の相談者数	1,011人	969人	1,100人	838人
目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）				
<p>本市に在住する外国人市民が行政の窓口や学校などで、日本語ができないことによる不利益がなく、安心して手続き等が行えるようにする。</p>					<p>行政の窓口や学校などで手続きに支障がないように、行政通訳や医療通訳の派遣、また災害時の通訳派遣などを行うとともに、制度の効率的な広報を行う。</p>				
成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
2 外国人市民の生活環境の向上 (外国人市民にとって情報不足等による生活の困難が軽減された状態)	—	—	85.0%	72.4%	行政・医療通訳の派遣件数	191件	206件	195件	170件
目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）				
<p>行政や市民団体、企業、大学などと協会が協働するとともに、各団体間の協働を協会がコーディネーターとして促進し、さまざまな機関による多文化共生の地域づくりを推進する。</p>					<p>積極的に行政や市民団体、企業、大学と連携した事業の実施や協力を行うとともに、各団体間の協働を推進するような働きかけを行う。</p>				
成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
3 協働団体数	223団体	224団体	240団体	215団体	協働事案件数	78件	78件	110件	91件

4	目的（目指す状態）				活動計画（どうやって目的を達成するか）				
	<p>定住者としての外国人市民と、地域でともに生活するという多文化共生の考え方については、十分に理解されているとは言い難いことから、これらに関する啓発事業を推進し、市民の理解を深める。</p>				<p>地域における多文化共生の推進のために、市民に対して多文化共生への理解を深めたり、多文化共生の実践へつながるような講座や国際理解教育を実施し多文化共生の担い手を育成する。</p>				
	成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標
市民の「多文化共生」という言葉の認知度	59.9%	60.6%	61.0%	59.5%	多文化共生の啓発事業への参加人数	634人	871人	2,100人	1,657人
5	目的（目指す状態）				活動計画（どうやって目的を達成するか）				
	<p>世界に開かれたグローバルなまちづくりを進めるため、留学生等の高度人材を活用したまちづくりを推進する。</p>				<p>高度人材である留学生等が地元企業への就職に結びつくように、留学生が企業を知り、企業も留学生を知ることができる相互理解を促進する。</p>				
	成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	i	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標
(H30～)日本での就職活動に対する留学生の理解度（日本での就職活動について「よく知っている」回答の割合）	—	—	14.0%	10.6%	(～R2)留学生への就職活動ガイダンスの開催数 (R3～)市内就職奨励金の募集と交付	1回	1回	1回	1回
6	目的（目指す状態）				活動計画（どうやって目的を達成するか）				
	<p>外国人市民が支えられるだけでなく、地域を支える人材として活躍できるよう、自助力・共助力を伸ばし、多文化共生のまちづくりを推進する。</p>				<p>地域の日本語教室関係者や外国人コミュニティ等から、多文化共生の担い手となる外国人キーパーソンを発掘・育成する。</p>				
	成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標
多文化共生の担い手となる外国人人材の地域への派遣	8回	10回	15回	18回	外国人市民の社会参画に向けた研修会の開催	11回	7回	11回	23回